

実行委員長 挨拶

第92回メーデー和歌山県中央実行委員会 実行委員長

連合和歌山 会長 池田 祐輔



残念ながら、昨年につき「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、「第92回メーデー和歌山県中央集会」を中止とさせて頂きました。

昨年の同時期も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大事をとって中止とさせて頂きましたが、その状況が1年を経過した現在も、改善されていないとは、よもや想像も出来ませんでした。

これまでの間、そして現在も大変厳しい状況にある、医療現場の最前線で頑張っている医療従事者や、関係者の皆様には、心より敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

また、新型コロナウイルスに感染された方々へ、お見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご家族に対しましては、衷心よりご冥福を申し上げます。

改めてこの1年を振り返ってみますと、世界中が新型コロナウイルス感染症拡大によるパンデミックに陥り、我が国においては、予定されていた「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が1年延期され、本年7月23日からの開催が予定されているものの、新たな変異株の出現により、予断を許さない状況が続いています。

そして、働く環境という意味では、禍を転じて「働き方改革」が大きく前進した1年と言えますが、一方では多くの方が職を失い、その結果、経済的に弱い立場の方の自殺率が上昇するという、厳しい現実を突き付けられています。

この様な状況は、昨年段階で十分想定出来たことであり、困っている人や社会的弱者に対して、速やかに救済の手立てを講じなければならないと、これまでも強く訴えて参りましたが、一連の政府の対応は後手後手と言わざるを得ず、とても納得の出来るものではありません。

とりわけ、今年は「第49回衆議院議員総選挙」が、必ず実施される年であり、連合和歌山の推薦候補者として、「第1区・岸本周平氏」「第2区・藤井幹雄氏」の両名を、早々に組織決定していますが、我々の代表を一人でも多く国政へ送り出し、二大政党制を実現するための足掛かりとなる選挙戦でもあります。

1区・2区ともに厳しい戦いになることは、想像に難くありませんが、緊張感のある政治を取り戻すためにも、それぞれの組織の総力を結集して、更に力強いご支援を賜ります様お願い致します。

まだまだ、コロナ禍という厳しい状況が続きますが、この時代を負の歴史として残すのではなく、今だからこそ出来る新たなスタイルを創造し、アフターコロナでは、既存のスタイルとハイブリッドし、より良いスタイルを構築することで、歴史をプラスに転じなければなりません。

連合和歌山は、引き続き「新型コロナウイルス感染症」の早期終息と、全ての働く仲間の安心と安全確保に向けて、全力で取り組みを展開して参ります。

結びにあたり、連合和歌山に集う全ての仲間が心をついに合わせ、自覚と責任のある行動を取り、パンデミックを乗り越え、来年こそ「第93回メーデー」が無事に開催出来ることを心から祈念し、「第92回メーデー」の挨拶とさせて頂きます。

ともに頑張りましょう。